

神戸市シルバーカレッジ 講義概要(シラバス)

コース 専 攻	総合芸術コース 音楽文化専攻	対象学年	全学年
講義日	令和8年9月3日(木)・9月10日(木)		
テーマ	合唱の楽しさを味わおう		
講 師	合唱指揮者 兵庫県合唱連盟副会長 矢田 正一		
講義内容			
1. 目標 合唱の楽しみ方は2人から大人数までいろいろな形態がありますが、シルバーカレッジでは全学年の大人数学生による合唱の楽しさを体験していただきます。 多くの人の声を重ねて表現する合唱が、生きる喜びにつながるようにと期待しています。 2. 内容 基礎理論の理解 読譜力、固定ド唱法と移動ド唱法 日本における合唱の黎明期 発声の基礎 美しい声と声量 効果的な発声による歌唱力を身に着ける ハーモニーの理解 表現力を高める合唱への挑戦 生涯忘れられない名曲の合唱版 3. 名曲を合唱で 表現なくして成り立たない音楽のすばらしさを、名曲に乗せて楽しく体験しましょう。			
講師からのメッセージ			
大きな声量で歌えば、健康に良いことがよく知られています。同時に腹筋を鍛えて歌うことで、寿命が延びることを実感しましょう。さらに表情豊かに歌う喜びを体験するとともに、声を重ねる合唱の楽しさを存分に味わいましょう。			

神戸市シルバーカレッジ 講義概要(シラバス)

コース 専 攻	総合芸術コース 音楽文化専攻	学年	2年
講義日	令和8年 4 月 15 日(水)		
テーマ	唱歌と童謡		
講 師	大阪芸術大学教授 吉良武志		
講義内容			
わが国の唱歌や童謡はどのように誕生したのでしょうか。 明治期、学校教育の中に教科「唱歌」として音楽を取り入れた経緯を概観することから始め、「言文一致唱歌」「童謡運動」、戦後の「新しい子どもの歌」と辿っていきます。 歴史を学習するだけでなく、その時代に歌われた歌をみんなで歌いながら、音楽文化の流れを感じ取っていただきたいと思いますと考えます 後半には、小学校の音楽教科書の中から、講義時期に合わせた教材を扱って参ります。 I. 音楽の伝来 II. 唱歌の誕生 ・学制 ・伊澤修二の留学 ・メーソン先生との出会い ・音楽取調掛 ・「小学唱歌集」 III. 教育の場に来た世界の民謡 IV. 新しい歌の台頭 ・言文一致唱歌 ・滝廉太郎 ・月刊雑誌『赤い鳥』と童謡運動 ・ラジオとレコード V. 戦後、子どもの歌の新生 ・『鐘の鳴る丘』(連続放送劇) ・放送番組の変化			
講師からのメッセージ			
前述の通り、歌いながら講義内容を感じ取っていただきたいと思いますと考えます。 音楽のない民族はありません。(厳密には楽器を持たない民族はいますが、歌のない民族は存在しません)			